

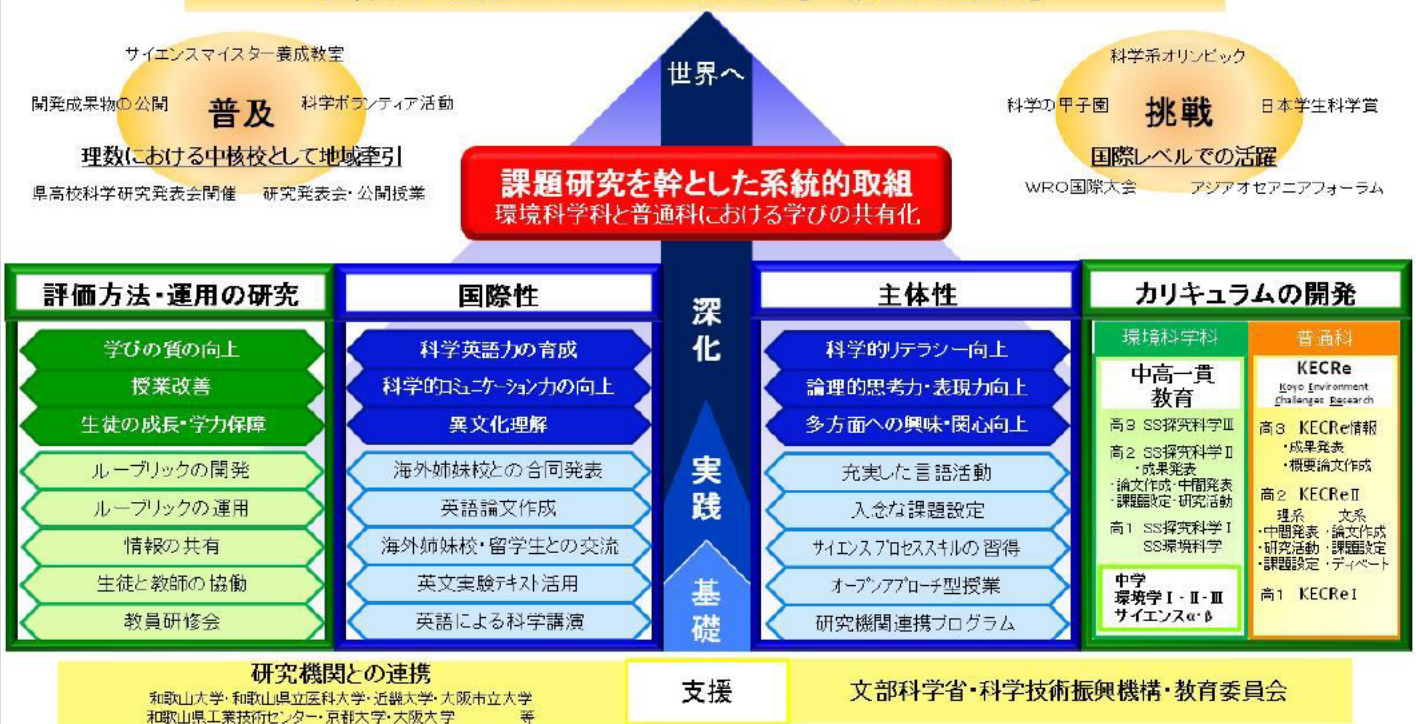


第3期SSHの2年目がスタートします。

和歌山県立向陽高等学校・中学校スーパーサイエンスハイスクール

みずからつとめてや
未来の国際舞台で輝く自強息まない主体的研究者の育成

主体性:「学ぶ意欲と創造性」「設計力と対応力」「協働性」
国際性:「国際コミュニケーション能力」「幅広い受容性」



今年度は、向陽高校・中学校はスーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校として第3期2年目の活動が始まりました。大きな特徴は今まで環境科学科を主に行ってきた探究活動を普通科にも広げ、向陽高校全体の科学への興味関心を高め、校風にもある自強不息の精神を持つ人材を学校全体で育成していくことです。具体的には環境科学科では、今までの経験をもとに地域の理数教育を引っ張っていけるような先進的な教育を行い、普通科1年生にはケクレⅠ（環境問題調査）、普通科2年にはケクレⅡ（課題研究）、普通科3年にはケクレ情報（ICTによる研究成果プレゼンテーション）の授業が今後加わります。



SSH(スーパーサイエンスハイスクール) とは・・・



平成14年度より文部科学省は未来を担う科学技術系人材を育成することをねらいとして、理数系教育の充実を図るサイエンスハイスクール（SSH）事業が始まりました。SSH指定校では、科学技術や理科・数学教育を重点的に行い、「科学への夢」「科学を楽しむ心」を

はぐくみ、生徒の個性と能力を一層伸ばす教育が展開されます。近年は、これに加えて高大接続を意識した大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進し、創造性、独創性を高める指導方法、魅力的な教材の開発等の取組を実施しています。2018年度は全国で204校がSSHに指定されています。

大阪大ラボツアーの様子

